

会 議 概 要

会議の名称	平成29年度第2回社会教育委員会会議
開催日時	平成29年10月3日(火) 13時30分 開会 15時40分 閉会
開催場所	湧別町文化センター さざ波 中会議室
出席者名	宮澤委員長、石垣副委員長、梅田委員、多田委員、平野(寿)佐藤(あ)委員、深谷委員、金子委員、森谷委員、三品委員、安瀬委員、上原委員、武藤委員、杉原委員 14名 教委～刈田教育長、星課長、田中館長、中島副館長、根子補佐藤本係長、杉森係長、高橋係長、太田主任
欠席者名	高柳委員、関谷委員
傍聴人の数	なし
会議の内容	1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 教育長あいさつ 4. 議 事 議案第1号 各種社会教育委員研修会・会議について 議案第2号 平成29年度前期社会教育事業の実施状況について 議案第3号 第2次社会教育中期計画策定について
会議資料	平成29年度第2回社会教育委員会会議議案
会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記) <input type="checkbox"/> 無
備考	

5 結果要旨

1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 教育長あいさつ
4. 議 事

●議案第1号 各種社会教育委員研修会・会議（報告・予定）について

- ・研修会に出席した各委員より、口頭または文書にて報告

（宮 澤）9月に札幌で開催された全国社会教育委員研究大会に出席した。分科会ではグループになり、全国から参加した社会教育委員と話す機会があり、その中で、社会教育課が作成している1ヶ月の社会教育事業の予定表を紹介した。多くの委員から事業の予定がわかりやすく記載されており、社会教育委員も事業に参加しやすい予定表だと好評だった。

- ・遠紋地区社会教育委員等研修会について（10月15日さざ波）

9：00 委員集合

9：30 受付開始（全員）

10：00 開会式 司会（深谷）～教委で原稿作成

10：30 講 演 講師紹介、謝辞（宮澤）

12：00 昼 食 講師接待（石垣）

13：00 グループ討議

社会教育入門 渡辺教育主事 司会（教委）

各グループ進行（梅田、深谷、関谷、（石垣））

14：30 閉会式 あいさつ（宮澤）

- ・全日程参加～宮澤、石垣、梅田、安瀬、深谷、金子、関谷、上原各委員

（宮 澤）午前中のみでも参加していただける方は、参加して頂きたい。

●議案第2号 平成29年度前期社会教育事業の実施状況について（各担当から説明）

《質 疑 等》

（平 野）上野カップ柔道大会の予算が多い、何にかかっているのか。参加人数に対して費用対効果を考えると、サロマ湖100キロマラソンのほうが高い。

（藤 本）畳を4コート分作る為、レンタルしている分が予算の多くを占めている。その他、講師の謝礼・旅費や消耗品である。

（平 野）次年度移行も行う予定なのか。開催の目的が不明瞭だと思う。

（藤 本）次年度については行う予定です。大会全日に柔道教室を開催し、小学生4名の参加を予定している。少しずつ柔道に興味を持つ人が増えてくれば良いと思っている。

（宮 澤）町内で柔道少年団等の団体が無い。これからどうやって柔道を町に根付かせる方法を考えて行かなければならない。地元や学校が協力して土壌づくりが必要。

（平 野）目的や将来につながる具体的なものがあればいい。多くのお金がかかっている

（藤 本）上野さんのお母さんも町内に少年団を作ろうと教室等を開いて頑張っているがなかなか参加者は集まらない状況である。

（平 野）100キロマラソンの参加者を増やすことは出来ないか。すぐに締め切りとなっているので倍くらいのニーズがあるのではないか。

（藤 本）交通規制の関係でこれ以上は増やすことが出来ない状況である。

（宮 澤）増田明美さんの講演を聞いて、多くの町民が参加できる気軽に走ることの出来る距離の町内大会があるといいと感じた。

●議案第3号 第2次社会教育中期計画策定について

5月から9月まで第1部会から第5部会に分かれて現状と課題について審議を行った。

各部会長から経過報告を行った。

【家庭教育】（梅田）～有害な動画配信やSNS等を通して、大量の情報が刺激的に子どもたちの中に入り込んでいる。

【少年教育】（平野）～ゲームやスマートフォン等の長時間利用や外で遊ぶ（他人と関わる）ことの減少、達成感の中から学ぶ

【青年教育】（平野）～青年が気軽に意見を言える（聞ける）機会を設ける

【成人教育】（梅田）～75才以上を高齢者とし、65才～74才を社会に参加しながら健康な高齢期に備える時期と定義する考え

【高齢者教育】（梅田）～60代の積極的な地域団体への参加や活躍の場の提供

【芸術文化】（深谷）～ロボットや人工知能には置き換えられない、人間だけにしか出来ないこと。芸術に触れる機会の充実。

【図書館活動】（宮澤）～「湧別町子どもの読書活動推進計画」の策定

【文化財保護活動】（深谷）～文化財、博物館資料の重要性、存在意義を知る機会の提供

【スポーツ】（宮澤）～合宿誘致活動や新しいトレーニング機器を設置し、町民がスポーツに触れる機会が増えている。

【基盤整備】（平野）～公共施設等総合管理計画に基づき、適正な維持管理に務める。

その他

（宮澤）スポーツ推進委員や図書館協議会委員の方と社会教育委員の共通の理解を深めるために、それぞれの委員からひとりずつでも社会教育委員になっていただくことは出来ないだろうか。そうすれば共通の理解のもと、同じ目標に向けて活動することが出来るのではないか。

○社会教育目標について

自ら学び、地域に生かせる人を支える

（平野）～「生かせる人」という表現だと「生かせない人」という逆説も考えてしまい、「生」という漢字ではしっくりこない。

（石垣）～「支える」という表現をあえてすべてに付けている。サポートするという目標。

（宮澤）～「生かせる」という漢字では狭い意味となってしまうため。「いかせる」とひらがなにして、広い意味の「いかせる」にしたらどうか。

また、現行の目標は前回、多くの時間をかけて話し合っただけで作った目標なので、そのままでもいいのではないか。⇒「いかせる」ひらがな表記にする

以下、社会教育目標

- ・自ら学び、地域にいかせる人を支える
- ・他人を思いやる、あたたかく豊かな心の人を支える
- ・人と人とのつながりを深める人を支える
- ・健やかな心と体をめざす人を支える
- ・ふるさとを知り、愛する人を支える

○社会教育中期計画テーマについて

第1次社会教育中期計画テーマ

「人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる」

⇒継続して第2次社会教育中期計画テーマとする。

○今後の予定

部会に分かれ、話し合った現状と課題を基に「推進目標・推進項目」の協議を行う。

10月から11月の間でそれぞれ1～2回の予定

12月中旬に全体会議を行い、集約と審議を行う。

15時40分 閉会